**オオサキワンダーミュージアム　人と大自然の青空博物館**

**Vol.50　「食べて・感じる大崎耕土スタンプラリー」参加店募集！**

問い合わせ　農政企画課世界農業遺産未来戦略室　電話23-2281

　大崎地域世界農業遺産推進協議会では、10月1日（火曜日）から11月30日（土曜日）まで「食べて・感じる大崎耕土スタンプラリー」を開催します。

このスタンプラリーは、大崎地域で生産・製造された農産物や農産加工品などを使用した飲食店での飲食や、土産店などでの買い物を楽しみながら、大崎地域１市４町（大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町）を巡るイベントです。

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、このスタンプラリーへの参加店を募集します。

対象施設は、市内の飲食店や農産物販売店などで、参加を希望する場合、8月15日（木曜日）までに農政企画課世界農業遺産未来戦略室に電話、Eメール(osaki-giahs@city.osaki.miyagi.jp)、または申込フォームから申し込みください。

詳しくは、大崎地域世界農業遺産推進協議会のウェブサイトなどで確認してください。

**やってみっぺ！みんなで手話**

手話を皆さんに知ってもらうため、あいさつの表現方法などを紹介します。手話は手指や体の動き、顔の表情を使って視覚的に表現する言語です。手話を使ったコミュニケーションの輪を広げてみませんか。

4 「ありがとう」をやってみよう！

❶左手の甲に右手の小指側を乗せる。

❷手の甲に乗せた手を上にあげるのに合わせて、軽くおじぎをする。

**市長コラム　天地人　　論語と**

20年ぶりに新紙幣が発行されました。

一万円札の新しい顔は渋沢栄一翁です。

翁は、生涯を通じて銀行をはじめ約500の企業の成立や育成、600の福祉や教育の社会公共事業に尽力し、「日本資本主義の父」「近代日本を創った偉人」と称された人です。

数々の功績の中で、翁は東北振興にも多大なご尽力をいただきました。翁は新政府の大蔵（大臣）に就いていた元宇和島藩主の伊達に見込まれ、大蔵省の要職に引き上げられました。（初代宇和島藩主は伊達政宗の長男、宗城の次男は旧仙台藩主の養子）

東北との関係性が深まった翁は、地下資源が豊富で稲作に適した東北に強い関心も芽生え、東北の振興に力を注がれました。

七十七銀行の創業支援、東北本線の建設やなどの計画にも携わり、東北の産業振興を目指す東北振興会の会長も務められました。

その熱情は国策として継承され、古川地域出身の吉野信次氏が社長を務めた東北振興電力株式会社（現東北電力株式会社）へ発展、成長されました。

百年の時を経て、翁の理念や価値観が一層注目されているのは、翁の著書『論語と算盤』の教えでありましょう。

論語＝道徳と、算盤＝経済の成立。現代で考えると、「SDGｓ」（持続可能な開発目標　誰一人取り残さない社会づくり）に一致するものであります。

新紙幣発行を契機に『論語と算盤』を読み返し、翁の目指す「道徳経済合一」の社会を築いてまいりましょう。